MAH-555C　AW29　2005年9月1日発行

トステム株式会社

把手セット

取付け説明書

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内の部品をご確認ください。

■把手セット

名　称	入　数	詳　細
室外側レバーハンドル	1個	―――
室内側レバーハンドル	1個	―――
外側台座	1個	―――
内側台座	1個	―――
レバー気密パッキン	1個	―――
台座カバー	2個	―――

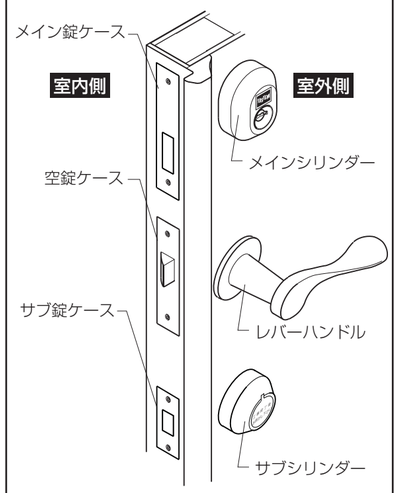
名　称	入　数	詳　細
シリンダーおよび取付けねじセット	1セット	シリンダーユニット（メイン・サブ）／各1個
		サムターン、トラス小ねじM4×45／2本
		セキュリティサムターン、皿小ねじM5×70／2本
		ナベ小ねじM4×20／2本
子鍵セット	1セット	オーナーキー／1本、子鍵／4本
		工事専用キー（コンストラクションキー）／3本
取付け説明書	1枚	―――

■固定把手セット（左右吊元兼用）

名　称	入　数	詳　細
室外側固定レバーハンドル	1個	―――
室内側固定レバーハンドル	1個	内側台座付き
外側台座（金物）	1個	―――
外側台座	1個	―――
レバー気密パッキン	1個	―――
台座カバー	1個	―――
取付けねじセット	1セット	ナベ小ねじM4×20／2本

■各部名称

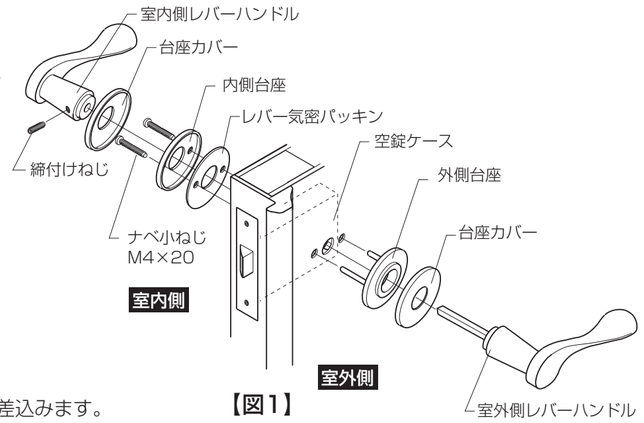
【レバーハンドル／室外側】



■取付け順序

1 把手の取付け（図1）

①外側台座を室外側から差込みます。
②レバー気密パッキンと内側台座を、ナベ小ねじで外側台座に取付けます。
③台座の上から、台座カバーを取付けます。
④レバーハンドルを室内外から差込み、締付けねじで固定します。
※空錠ケースは、ドア本体に取付け済みです。



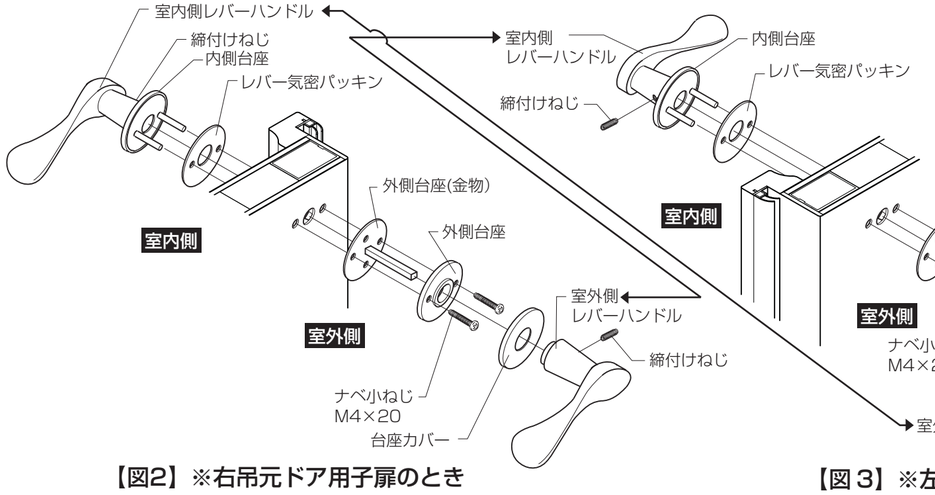
【図1】

2 両開きタイプの子扉の把手の取付け（図2）

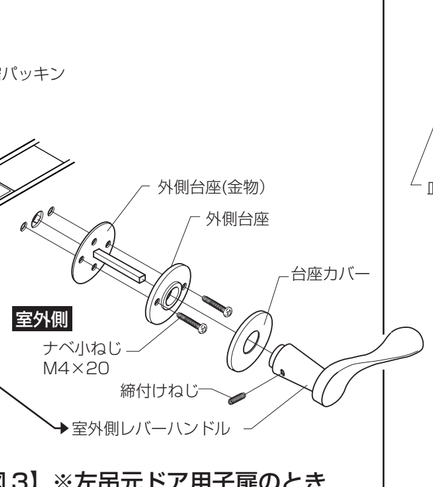
①室内側固定レバーハンドルをレバー気密パッキンに差込みます。
②室内側固定レバーハンドルを室内側から差込みます。
③外側台座（金物）と外側台座をナベ小ねじで室内側固定レバーハンドルに取付けます。
④外側台座の上から、台座カバーを取付けます。
⑤室外側固定レバーハンドルを室外側から差込み、締付けねじで固定します。
※固定把手セットは左右吊元兼用です。図2は右吊元ドア用子扉のときを示します。

※左吊元ドア用子扉の場合（図3）

室内側レバーハンドルの締付けねじを取りはずし、室外側レバーハンドルを内側台座に差込んだ後、締付けねじで固定します。その後、上記①～⑤の順で取付けます。(左右吊元によって室内側レバーハンドルと室外側レバーハンドルの使い分けが室内外逆になります。)



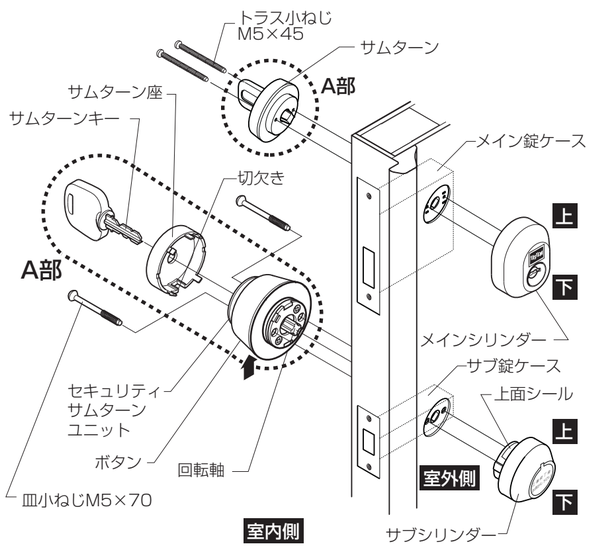
【図2】※右吊元ドア用子扉のとき



【図3】※左吊元ドア用子扉のとき

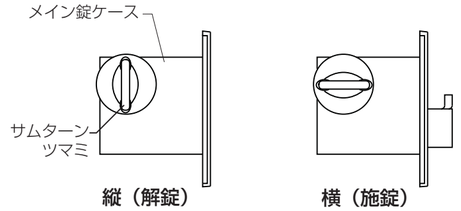
3 メインシリンダーおよびサブシリンダーの取付け

①メイン用シリンダー（大きい方）のトステムマークを上に向けます。
②メイン用シリンダーの出っ張り（4ヵ所）を、メイン錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
③サムターンをトラス小ねじでメインシリンダーに取付けます。
④サブ用シリンダー（小さい方）の上面シールを上に向けます。
⑤サブ用シリンダーの出っ張り（4ヵ所）をサブ錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
⑥セキュリティサムターンを皿小ねじでサブ用シリンダーに取付けます。
⑦サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
⑧ボタンを上に押し上げながら、サムターンキーを差込みます。（ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。）
※メイン錠ケース・サブ錠ケースはドア本体に取付け済みです。



■サムターンツマミの操作（A部詳細図）

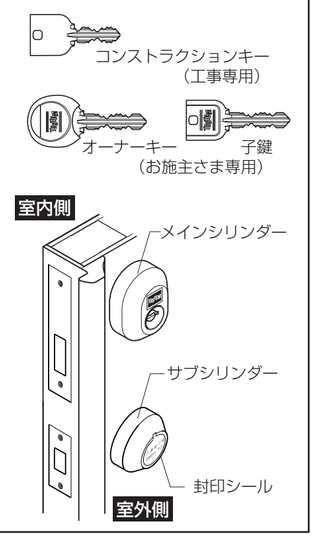
※サムターンツマミは、縦にして取付けてください。



■コンストラクション装置について

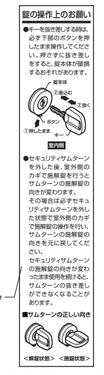
●メインシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。

●サブシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていないため、封印シールが張ってあります。施工後、シールをはがし作動を確認した後、お施主さまにお引渡しください。



お願い

●木製ドアのため、表面にラベルを張付けすることができません。このラベルはドア室内側ガラスに張ってください。又は、お施主さまにお取扱い説明書としてお渡しいただけるようお願いいたします。



お願いラベル